




ほけんだより 8

大宮みちのこ保育園
2023年8月1日

今年はヘルパンギーナとRSウイルス感染症が流行していますが、新型コロナウイルスの感染者も増えてきました。暑さにより体力も消耗するので抵抗力も落ちてきます。早寝早起き朝ごはん！の生活リズムを崩さずに、元気に夏を乗り越えていきましょう。

熱中症に気をつけましょう

今年の夏も猛暑が続き、日中の気温も危険な状況です。乳幼児は体も小さく、自分で意思表示をして水分を取ることが難しいので、脱水症や熱中症にならないよう周囲の大人が気をつけましょう。炎天下だけでなく室内でも湿度や温度により起こします。これからの時期はお出かけに車を使う機会も増えます。冷房を効かせても直射日光や窓の近くは熱がこもりやすくなるので気をつけたいです。車の中での熱中症による死亡事故も起きている為、短時間でも子どもを置いたままにしないでください。



夏に流行する感染症にも気をつけましょう

	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱（プール熱）
主な症状	口の中、手のひら、足の裏などに発疹や水疱ができます。あまり高い熱は出ません。	突然の高熱で発症し、口の中の奥の方に水疱や潰瘍ができます。	発熱、咽頭炎（のどの腫れ）、結膜炎（目の充血や目やに）などの症状が現れます。
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染 水疱の内容物や便の中のウイルスが手を介して口や目などの粘膜に入ることによる経口及び接触感染 		<ul style="list-style-type: none"> 飛沫感染 接触感染 感染力が強く、プールや温泉施設などでの感染もあります。
治療	つらい症状を和らげる対症療法が中心です。		対症療法と、目の症状が強い時は眼科での治療を行います。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分がとりにくくなり、脱水症状を起こすことがあります。水分補給に努め、柔らかく刺激の少ない、消化の良い食事を工夫しましょう。 ぐったりしている、呼びかけに対する反応が弱い、意味不明の言動が見られるなどの症状が現れた場合は緊急受診しましょう。 胃腸炎症状を起こすウイルスもあります。 		